令和3年6月8日

# 令和3年度水稲生育定期調査結果 No.1 (6月4日現在)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 生産システム研究室・県北農業研究所 作物研究室 (生産基盤研究部) TEL: 0197-68-4413、FAX: 0197-71-1081 (県北研究所) TEL: 0195-47-1074、FAX0195-49-3011

#### 1 気象経過

#### (1) 北上

- ・育苗期の気温は、平年と比較し、前半(4月第6半旬~5月第1半旬)は低く、後半(5月第2~3半旬)は高く経過した。日照時間は、平年と比較し、4月第5半旬、5月第3半旬で多く、その他は平年並みで経過した。
- ・移植後の気温は、平年と比較し、5月第4半旬は高く経過したが、5月第5~6半旬は低く経過し、降水量が多く日照時間が少なかった。

#### (2) 軽米

- ・育苗期の気温は、平年と比較し、初期(4月第5半旬)の最低気温が大きく下回り、その後4月第6半旬~5月第1半旬も低温で経過したが、後半の5月第2~4半旬は高く経過した。日照時間は、平年と比較して4月第6半旬~5月第1半旬は少なく、5月第2~3半旬はかなり多かった。
- ・移植後の気温は、平年と比較し、5月第5~6半旬は低く経過し、降水量が多く日 照時間が少なかった。
- (参考) 北上の気象データは、アメダス観測値(平年は1991~2020年の30か年平均) 軽米の気象データは、県北農業研究所観測値(平年は1997年~2020年の24か年平均)

# 2 生育概況

## (1) 苗質

- ・北上(農業研究センター本部)では、過去5か年平均と比較し、草丈は短く、葉齢はやや少で、乾物重は下回ったが、苗の充実度(乾物重/草丈)は平年並であった(表1)。
- ・軽米(県北農業研究所)では、過去5か年平均と比較し、草丈はやや長く、葉齢、乾物重は並であったことから、苗の充実度はやや下回った(表1)。

## (2)活着

- ・北上(農業研究センター本部)では、移植後\*の気温が平年並~やや高く、過去10か年 平均と比較した平均根長、総根長は長く、活着が順調であった(表2、図3)。
- ・軽米(県北農業研究所)では、移植後\*の気温が平年より低く、過去10か年平均と比較した平均根長、総根長は短く、活着が遅れた(表2、図3)。
- ※ 本田移植期(農業研究センター・北上:5/14、県北農業研究所・軽米:5/20)

## (3) 本田生育

北上(農業研究センター本部)、軽米(県北農業研究所)ともに、草丈、茎数、葉齢が過去5か年平均を下回っている(表3、図1、図2)。







図1 水稲作況調査ほ場の6月4日の生育状況(北上:農業研究センター本部)



図2 水稲作況調査ほ場の6月4日の生育状況(軽米:県北農業研究所)

表1 苗調査結果

調査項目	単位	年次	農業研究センター(北上)			県北農業研究所 (軽米)
			ひとめぼれ	あきたこまち	銀河のしずく	いわてっこ
草丈	(cm)	本年	12. 5	13. 4	13. 6	21. 4
		5か年平均	18. 0	17.8	19. 4	18. 4
		5 か年平均との差	-5.5	-4.4	-5.8	+3.0
		10 か年平均	17. 6	17. 5	<u>—</u>	17.8
葉齢	(葉)	本年	2. 3	2. 3	2. 6	3. 2
		5か年平均	2. 7	2. 6	2. 7	3. 3
		5 か年平均との差	-0.4	-0.3	-0. 1	-0. 1
		10 か年平均	2. 7	2. 6		3. 2
第1葉鞘長	(cm)	本年	3. 6	3.8	3.8	3. 5
		5か年平均	4. 4	4. 3	4.8	3. 1
		5 か年平均との差	-0.8	-0.5	-1.0	+0.4
		10 か年平均	4. 3	4. 3	<u> </u>	3. 3
第2葉身長	(cm)	本年	6. 6	7. 2	7. 0	6. 5
		5か年平均	8. 5	8. 5	9. 5	5. 9
		5 か年平均との差	-1. 9	-1.3	-2 <b>.</b> 5	+0.6
		10か年平均	8. 5	8. 5	<del></del>	6. 4
	g/100本	本年	1. 25	1. 21	1.48	2. 43
乾物重		5か年平均	1.72	1.66	1. 72	2.35
		5 か年平均との差	73%	73%	86%	103%
		10 か年平均	1.80	1. 76	<del></del>	2.34
充実度 (乾物重/草丈)	mg/cm	本年	1.00	0. 90	1. 09	1. 14
		5か年平均	0. 95	0. 94	0.89	1. 27
		5 か年平均との差	105%	96%	122%	90%
		10 か年平均	1.03	1. 03	<del></del>	1.31

※1 「5か年平均」は平成28~令和2年、「10か年平均」は平成23年~令和2年の平均

※1 「5か年平均」は平成28~令和※2 播種:農研セ4/20、県北研4/19※3 移植:農研セ5/14、県北研5/20

表 2 発根調査結果

調査項目	単位	年次	農業研究センター (北上 5/14 移植)			県北農業研究 (軽米 5/20 移植)
			ひとめぼれ	あきたこまち	銀河のしずく	いわてっこ
発根数	(本)	本年	10. 1	10.7	9.9	14. 2
		5か年平均	13. 4	13. 3	11.7	13. 4
		5 か年平均との差	-3.3	-2.6	-1.8	0.8
		10 か年平均	12. 3	12.3	_	12. 5
最長根長	(cm)	本年	11. 2	10.6	11.3	7. 1
		5か年平均	8.6	8.3	8.4	8. 3
		5 か年平均との差	+2.6	+2.3	+2.9	-1.2
		10 か年平均	8. 4	8.3	_	7. 4
平均根長	(cm)	本年	6.8	6. 9	7. 2	3. 4
		5か年平均	5. 5	5. 2	5. 3	4.8
		5か年平均との差	+1.3	+1.7	+1.9	-1.4
		10か年平均	5. 3	5.0	_	4. 4
総根長	(cm)	本年	69. 2	73. 6	71.5	49. 0
		5か年平均	75. 5	72. 0	64. 4	65. 1
		5 か年平均との差	-6. 3	+1.6	+7. 1	-16. 1
		10 か年平均	65. 7	62. 1	<del>-</del>	55. 8
		10 か年平均との差	+3.5	+9.9	_	-9.3
移植後 10 日間の 平均気温	(℃)	本年	17. 4			14. 1
		5 か年平均	17. 4			16.8
		5 か年平均との差	0. 0			-2. 7
		10 か年平均	16.8			16. 3
		10 か年平均との差	+0.6			-2.2

- ※1 「5か年平均」は平成28~令和2年、「10か年平均」は平成23年~令和2年の平均
- ※2 農業研究センターの気温はアメダス北上データ、県北農業研究所の観測データ
- ※3 剪根苗を移植し、約10日後に発根調査を実施

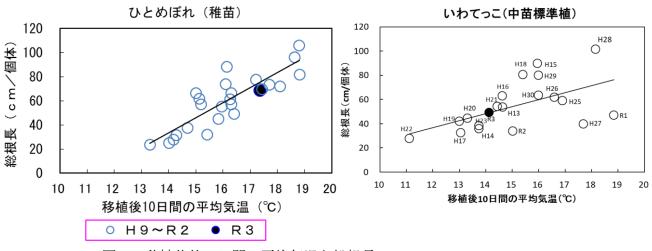


図3 移植後約10日間の平均気温と総根長

※ 農業研究センター「ひとめぼれ」・県北農業研究所「いわてっこ」

表3 生育調査結果(6月4日現在)

調査項目	単位	年次	農業研究センター(北上)			県北農業研究所 (軽米)
			ひとめぼれ	あきたこまち	銀河のしずく	いわてっこ
草丈	(cm)	本年	24. 2	22.8	28. 5	22. 0
		5か年平均	26.8	25. 9	30. 7	24. 0
		5 か年平均との差	-2.6	-3. 1	-2.2	-2.0
		10 か年平均	26. 0	24.8	<del></del>	22. 0
		10 か年平均との差	-1.8	-2.0	<u>—</u>	0.0
茎数	(本/m²)	本年	129	102	93	86
		5か年平均	169	125	153	138
		5 か年平均との差	76%	82%	61%	62%
		10 か年平均	132	109	_	132
		10 か年平均との差	98%	94%	<del></del>	65%
葉齢	(葉)	本年	5. 4	5. 4	5. 1	4. 6
		5か年平均	5. 6	5. 6	5. 5	5. 4
		5 か年平均との差	-0.2	-0.2	-0.4	-0.8
		10 か年平均	5. 4	5. 5	_	5. 1
		10 か年平均との差	0.0	-0. 1	_	-0. 7

※ 5か年平均:農業研究センターは平成28~令和2年、県北農業研究所は平成26~27、30~令和2年の平均

※ 10か年平均:農業研究センターは平成23年~令和2年、県北農業研究所は平成21~27、30~令和2年の平均

# 3 栽培条件

(1)調査場所

農業研究センター:北上市成田 標高90m

県北農業研究所 : 九戸郡軽米町大字山内 標高221m

(2) 土壌条件

農業研究センター:淡色多湿黒ボク土(造成25年目)

県北農業研究所 :表層腐植質多湿黒ボク土(造成25年目)

- (3) 種子消毒(共通) テクリードCフロアブルの低濃度長時間浸漬
- (4) 病害防除(共通) ダコニール1000+タチガレエースM液剤灌注
- (5)播種、育苗

農業研究センター:4月20日播種(乾籾150g/箱、稚苗) 県北農業研究所:4月19日播種(乾籾120g/箱、中苗)

(6) 育苗培土

農業研究センター:稚苗用培土 (N:P:K=0.6:0.9:0.6(g/kg)) 県北農業研究所 :中苗用培土 (N:P:K=0.9:1.2:0.6(g/kg))

- (7) 育苗方法(共通)加温出芽、ビニールハウスプール育苗
- (8) 移植、栽植密度及び植付け本数

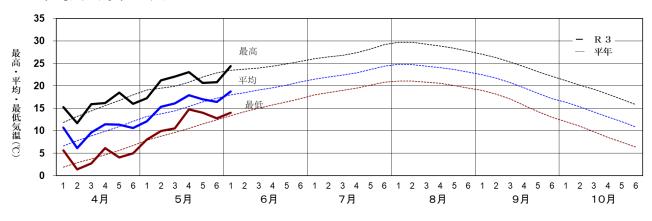
農業研究センター:5月14日、機械移植、20.4株/㎡ (平年値は20.6株/㎡)、4本/株 県北農業研究所 :5月20日、機械移植、22.0株/㎡ (平年値は22.2株/㎡)、4本/株

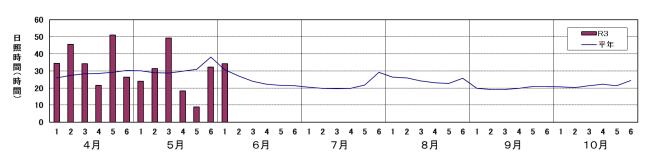
(9) 施肥量(基肥)

農業研究センター: N 6kg/10a、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 7.2kg/10a、K<sub>2</sub>O 7.2kg/10a 県北農業研究所 : N 6kg/10a、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 7.0kg/10a、K<sub>2</sub>O 9.0kg/10a

(10) 有機物施用量 牛厩肥 1 t /10a

# 4 半旬別気象経過図





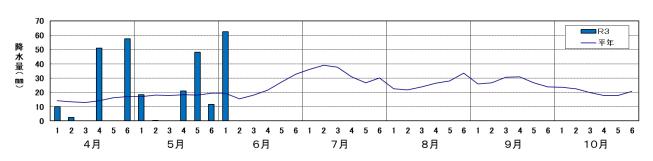


図4 気象経過図 (アメダス北上、6/5 時点)

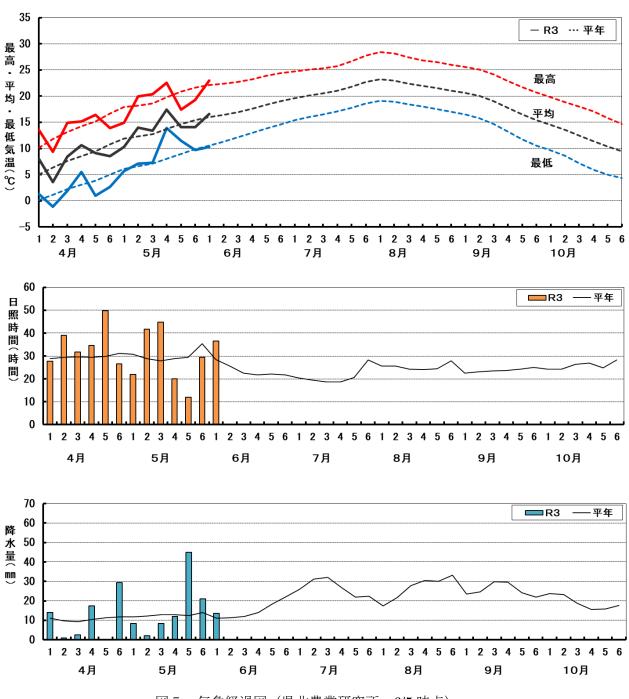


図 5 気象経過図(県北農業研究所、6/5 時点)